

## 令和5年度 学校関係者評価(前期)

鹿児島市立吉野東小学校

## 1 自己評価の方法について

A (よい) B (課題はあるが概ねよい) C (課題があり、速やかな改善が必要)

	観 点	評価資料	評価
1	児童や学校の実態、保護者や地域の意見・要望等を踏まえ、学校としての教育目標等が重点化され、適切に設定されているか。	自己評価 保護者アンケート	A
2	自己評価が定期的実施されているか。	自己評価 保護者アンケート	A
3	自己評価項目は、必要な内容を網羅しているか。	自己評価 参観時アンケート	B
4	自己評価結果を次の教育活動の改善に活用しているか。	自己評価 保護者アンケート	A
5	自己評価が全校体制で行われているか。	自己評価 保護者アンケート	A
6	客観的な評価資料に基づいた自己評価になっているか。	自己評価	B
7	保護者へのアンケートが実施され、自己評価を行う上での参考になっているか。	自己評価 保護者アンケート	A
8	児童へのアンケートが実施され、自己評価を行う上での参考になっているか。	自己評価 児童アンケート	A
9	保護者以外(地域住民等)へのアンケートが実施され、自己評価を行う上での参考になっているか。	学校評議員会 参観時アンケート	A
10	アンケートを行った児童、保護者の匿名性の担保に配慮しているか。	保護者・児童 アンケート	A
11	学校評価(自己評価・学校関係者評価等)結果を保護者等に分かりやすく、適切に公開しているか。	学校だより	B
12	個人情報の保護に十分配慮して配慮して情報を公開しているか。	学校だより ホームページ	A
所見	<p>○ 元気なあいさつ、楽しい授業、開かれた学校づくりなど、学校の諸課題解決のために努力してもらいたい。また、こうした取組については、全校で実践できるように期待している。</p> <p>○ 職員による自己評価を踏まえた課題解決に向けた取組については、全職員の共通理解を踏まえた上で、その成果等を確実に検証していくようにする。</p> <p>○ 保護者による学校評価結果に基づいた学校側の対策はしっかり取り組んでいる様子だが、低評価項目への個々の保護者対応や連携がどうなっているのか気になる。</p>		

2 自己評価の内容について

学校の自己評価書やかねての情報提供、教育活動参観等を通して検証する。

○ 成果

学校の取組の主な成果（学校記述）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等の授業や行事等、目標を達成するために、児童の実態や家庭・地域のニーズ等を踏まえ、各学年・各係で連携して工夫・改善しながら進めている。</li> <li>・学校支援ボランティア等の取組を通して、外部人材の活用を進め、開かれた学校づくりに向けた努力を重ねることができた。</li> <li>・生徒指導事案に関して、校内での指導体制を確立することで組織的な対応を心がけることができた。そのため、事案発生から実際の指導まで滞りなく進めることができた。</li> </ul>
評価及び助言等（学校関係者評価委員会記述）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価を行うだけでなく、課題解決のために保護者にどのような取組ができるのか問い返してもよいのではないか。</li> <li>・長いコロナ生活も解除となり、地域行事も戻りつつある中、時折の地域行事にも地域担当教員が参加できたら、家庭、地域連携も更に充実されると思う。</li> <li>・生徒指導に関する事案は、地域の中で解決できることも多いと思うので、より緊密な地域との連携を進めていってほしい。</li> </ul>

○ 課題

学校の取組の主な課題（学校記述）	課題に対する解決策（学校記述）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数増に伴い、様々な課題を抱えた児童（不登校・登校渋りなど）への対応に時間を要している。</li> <li>・学力検査の結果から、落ち込みが見られる内容がある。個々の教師の授業力向上を図り、子供の学力向上に取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だけでは対応できないケースが増えているため、関係機関等との連携を深め、様々な関わりの中で課題解決に努めている。</li> <li>・校内研修等で学力向上に向けた取組を実施し、一人一人の教員の授業力向上を図ることで分かる授業の実現を目指している。</li> </ul>
評価及び助言等（学校関係者評価委員会記述）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の諸課題に関しては、学校だけでは解決が難しい事例が数多くあると思う。そうした事例については、地域としても協力を努め、一緒になって解決できるようにしていきたい。特に、安全指導に係る児童の見守り活動等については地域としても可能な限り協力していきたい。</li> <li>・いじめの認知件数については、その認知件数が少ない印象を受けるので、いじめの正確な認知がなされていないと感じる。さらに詳細な聞き取り等が必要ではないか。</li> <li>・家庭、学校、地域が一体となった姿とは、どのような姿なのか。先生方一人一人が考えて学校教育に携わっていくことが子どもや学校を変えていくことにつながっていくのではないかと考えている。</li> </ul>	